

## 研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： Human-in-the-loop 型歌唱デザインの開発

2. 個人研究者名

森勢 将雅（明治大学総合数理学部 准教授）

3. 事後評価結果

現状の歌唱デザインでは、イメージする歌声のデザインに伴い不自然さを解消する煩雑な微調整が必要である。本研究では、歌の自然さを計測する知覚モデルを構築し、利用者のデザイン結果が常に自然に保たれるよう自動調整する機能を組み込んだ知的ユーザインタフェースにより、歌唱デザインを支援する基盤の構築を目指した。

結果として、独自のインタフェース設計の実現に成功し、歌唱デザインに貢献する独自性の高い研究に成功した。また、歌声編集の実用的なインタフェースを完成させ、社会実装にまで高めた点は高く評価できる。

今後に留意点として、データ駆動型のシステムには多くの学習データが必要となるかもしれないため、ツール公開等によりデータや事例を収集し、完成度を高めるうえで、今が頑張りどころだと思う。